山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録	
会議の種類	平成25年度第1回山陽小野田市健康づくり推進協議会
日 時	平成25年7月11日(木) 19:00~20:45
場所	小野田保健センター
出席者	小 野 田 医 師 会 松 岡 彰 (会長)
	山陽小野田市社会福祉協議会 沖野 浩 (副会長)
	厚 狭 郡 医 師 会 中根比呂志 (委員)
	小野田歯科医師会多原康成(委員)
	厚狭歯科医師会嶋田修士(委員)
	山陽小野田薬剤師会野村茂正(委員)
	山陽小野田市ふるさとづくり協議会 杉本保喜 (委員)
	山陽小野田市自治会連合会 藤田正人 (委員)
	山陽小野田市連合女性会 井上幸子 (委員)
	山陽小野田市小・中学校 PTA 連合会 河 村 和 彦 (委 員)
	山陽小野田市母子保健推進協議会 吉田由美子 (委員)
	山陽小野田市食生活改善推進協議会 半 矢 幸 子 (委 員)
	山口宇部農業協同組合 笹木伸子 (委員)
	山口県看護協会小野田支部 建石弘子 (委員)
	山口県栄養士会宇部地域専門部会 坪河 蓉子 (委員)
	山口県歯科衛生士会小野田支部 新藤悦子 (委員)
	一般公募曽瀬護(委員)
	一 般 公 募 原田静江 (委員)
	(出席者数 18 人)
欠席者	山陽小野田市老人クラブ連合会 笹尾新太郎 (委員) (欠席者数 1人)
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター 山﨑千鶴代
事 務 局	健康福祉部長田所 栄健康増進課長兼本裕子
	健康增進課技監 山 根 愛 子 健康増進課課長補佐 木 本 順 二
	健康增進課課長補佐 河 野 静 恵 成人保健係係長 石 井 尚 子
	健康企画係係長 岡 村 敦 子 健康企画係主事 竹 森 和 貴

- 1. 辞令交付
- 2.あいさつ

健康福祉部長あいさつ

- 3. 委員紹介
- 4. 会長、副 会長の選出
- 5. 議事

(1) 平成25年度山陽小野田市保健事業概要について 資料1(平成25年度山陽小野田市保健事業概要)の説明 保健概要について質問、意見等ないか。

議 長

事業概要を聞いただけでも市がいかに多くの事業を実施しているか が分かる。

委 員

小野田工業高等学校で禁煙教育を実施したということだが、他の高校では実施しているか。

事 務 局

小野田工業高等学校以外では実施していない。

委 員

どうして小野田工業高等学校は市へ依頼したのか。

事 務 局

校内教師以外の者で禁煙教育を生徒にしてほしいという理由であった。

委 員

小・中学校に対する禁煙教育は実施しているのか。

宇部市では市の事業として年に小・中学校を8校ずつ周り、禁煙教育を実施している。禁煙教育は山陽小野田市の今後の課題である。喫煙は予防が一番大切であるため、小・中学校に対する禁煙教育をぜひ検討して頂きたい。

事 務 局

貴重な御意見を頂き感謝する。現在までの健康増進課の事業は小学校入学までの子供又は高校生以上を対象とした取り組みであった。しかし、25年度の秋頃より、子供たちの社会性を磨くため、市役所から学校への出前講座を始める。健康増進課として、禁煙教育についての出前講座も実施したいと考えている。具体的な講座内容については、秋の開催に向けて教育委員会と協議中である。

委 員

平成25年度山陽小野田市保健事業概要の25頁に「平成24年度子宮がん等ワクチン接種緊急促進事業状況」とあるが、「平成24年度子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業状況」で良いか。

事務局委員

「平成24年度子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業状況」で良い。 子宮頸がんワクチン予防接種については国からの勧告通り対応しているか。

事 務 局

平成25年6月14日付けで厚生労働省から、市は、子宮頸がんワクチン予防接種について積極的な勧奨を控えるよう勧告があった。勧奨を控えるものの、定期予防接種を中止するものではないため、接種に当たり住民が有効性と副反応を理解し、受けてもらえるよう情報を提供している。

委 員

宇部市が禁煙教育を小・中学校に対して実施しているという話があったが、禁煙教育を行うのであれば、高校生を対象とした方が効果的では

ないか。

委員

以前、中学生の約50パーセントが喫煙の経験があるというデータを 見たことがある。このため、禁煙教育は高校からではすでに遅いと考え る事ができる。現在ではタスポ等の導入で未成年者の喫煙は以前に比べ れば減少しているかもしれないが、最新のデータは分からない。

これまで喫煙経験者の割合は高校生で7割、中学生5割、小学生3割といわれてきた。喫煙予防には小・中学校から早めの教育が必要であると思う。

委 員

最近、若い女性の喫煙を良く見かける。妊婦の喫煙は胎児へ悪影響ではないか。

議 長

市の母子保健から意見等ないか。

事 務 局

喫煙による胎児への影響については、面接を実施する際に指導している。しかし、あまり厳しく指導するとその後の訪問等を受けてもらえないなどの問題がある。山口大学の先生から妊婦の喫煙についてのアンケートを取りたいという要望があり、山口市、宇部市、山陽小野田市で実施している。今後、妊婦の喫煙の状況を報告させて頂く。

議 長

若い女性への喫煙教育は是非取り組んでいかなければならない。 他に御意見等ないか。

委 員

先ほどの事業内容を聞いて、大変多くの保健事業があることが分かった。市は、これらの保健事業を通じて様々な家庭問題等を確認できると思うが、このような情報の他事業への引き継ぎはできているか。

事 務 局

生後4か月までの幼児には、母子保健推進員又は保健師が訪問等を実施している。それでも直接会えない場合は、健診等を利用して状況を確認するよう徹底している。

委員

テレビ等で若い女性の意見を聞くと、世間が悪い、周りが面倒を見てくれない、仕事が無い等の発言をするが、このような意見だけが真実ではないと思う。先ほどの保健事業の説明を聞いていても分かるとおり、どの地区にも子育てを援助するシステムは存在している。問題は多くのシステム、事業はあっても市民へ情報が十分に伝わっていない事ではないか。今後はいかに保健事業に参加した事がない市民に参加してもらえるかが、課題だと思う。

議長

テレビ等のマスコミはどうしても視聴者の興味を引くように報道をしてしまう。マスコミからの情報が本当に正しい情報であるのかを見極める力も必要。市にはFMサンサンキララ等を利用して保健事業の積極的なアピールをお願いしたい。

(2) SOS 健康づくり計画中間アンケートについて (意見交換) SOS 健康づくり計画の概要について説明

事 務 局

中間評価報告を受けて、本日の健康づくり推進協議会で課題を挙げて頂きたい。そして、本日出して頂いた課題と健康増進課から出た課題を合わせて、健康増進課で SOS 健康づくり計画の見直し案を作成するので、次回の健康づくり推進協議会で再度意見交換をさせて頂くという方

議 長 SOS 健康づくり計画の見直しをしっかり実施するためにも、この方法 で問題ない。 資料2、3(山陽小野田市 SOS 健康づくり計画中間評価)説明 中間アンケートの結果報告を受けて、今後 SOS 健康づくり計画を進め 議 長 るにあたって、どこを重点的に取り組むべきか意見等ないか。 歯科医師会から意見等ないか。 歯磨きの回数について男女差があるという報告があったが、歯磨きの 委 員 回数だけでなく磨き方にも男女差があるように感じる。男性は短い時間 で歯磨きを終わらせるのに対し、女性は丁寧に時間をかけて歯磨きをす るように思う。自分自身の子供を見ても息子は歯磨きをあまりしないが 娘は丁寧に歯磨きをする。性別による差があると断定する事はできない が、女性の方が歯磨きの回数も多く、磨き方も丁寧であるといえるので はないか。 「歯を磨く=虫歯にならない」と断定する事はできない。ブラッシン グだけでは不十分であり、フッ素を活用する事が虫歯予防に効果的であ る。 今後虫歯予防については本市の課題なので今の意見を参考にしてほ 議 長 しい。 次に食生活については意見等ないか。 生きるためには食べる事が必要。小さい頃からの食育が健康な市民を 委 昌 育てるという意識を持って今後も取り組んでいきたい。 年齢、性別で分析すると様々な特徴が見えてくる。若い人があまり運 長 議 動をしていないというのは驚きを感じる。若い世代への働きかけが今後 大切である。 委 員 アンケートの回答は社会情勢等の影響で変わってくる。先ほど歯磨き の話があったが、虫歯予防につながる丁寧な歯磨きを実施しているかど うかを知りたいのであれば、回数を問うのではなく、「磨き残しがない か毎回確認しながら歯を磨いていますか」などの質問を加えるなどの工 夫が必要である。 このアンケート自体の質問項目が多いと思う。答える側の立場で作っ てほしい。また、アンケートを誰に配るのか、誰に答えてもらうのかを しっかり決めておかなければ答えに偏りが出てくる。可能な限り偏りが ないよう回答者を選別してほしい。 委 アンケートに「歯磨きを行う際の歯ブラシは手動か電動か」という項 Ħ 目を加えてもらいたい。 6、その他 (3) SOS 健康フェスタについて

次回開催予定 10月10日(木曜日) 19時00分~

小野田保健センター

事務局より、資料の説明。

法でよろしいか。